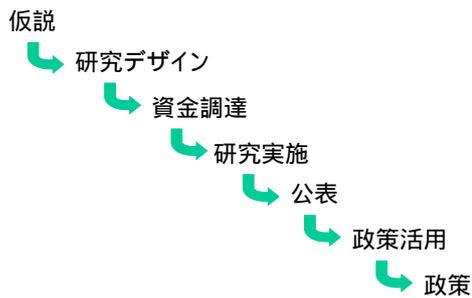


Lesson 21. 健康政策と疫学

§ A. 根拠に基づき健康政策

仮説から政策へ



根拠に基づく健康政策

Evidence-based Health Policy

- 現時点で入手可能な最良の**科学的根拠**についてその信頼性や妥当性を批判的に検証吟味し、その根拠を有効に活用して直面する健康政策上の問題を解決していく意思決定(政策形成)の過程や方法
- 公衆衛生上の問題 → EBPH
- 診療上の問題 → EBM

EBMの手順

1. 疑問の定式化
2. 根拠の入手
3. 根拠の批判的吟味
4. 臨床への応用
5. 事後評価

批判的吟味

Critical Appraisal

- 入手した文献(論文、調査報告)が、自分が抱える問題を解決するのに妥当なもので、その内容が信頼できるか、自分の問題に活用できるかを先入観なしに評価する。
- 判定基準に基づいた客観的評価

判定基準の例(AMA)

治療	治療に対して患者が無作為に割り付けられているか。
診断	参照基準(至適基準)とは独立して盲検的に比較しているか。
害	比較群は重要な転帰の決定要因に関して(対照群と)類似しているか。
予後	追跡は十分長く完璧であるか。

科学的根拠の水準 (AHCPR)

水準	根拠の種類
a	無作為化比較対照試験のメタアナリシス
b	少なくとも1つの無作為化比較対照試験
a	少なくとも1つの良好な非無作為化比較研究
b	少なくとも1つのよいデザインの準実験的研究
	よくデザインされた非実験的な観察研究
	専門委員会、権威者の意見や臨床経験

科学的根拠の質の分類 (USPSTF)

質の水準	根拠の種類
	無作為化比較対照試験
- 1	非無作為化比較対照試験
- 2	コウホート研究または患者対照研究
- 3	時系列研究、非対照研究
	権威者の意見、記述疫学

EBMの詳しい情報

日大医学部公衆衛生EBMのページ
URL

http://www.med.nihon-u.ac.jp/department/public_health/ebm/

EBHPの手順

1. 問題の争点をまず述べて明らかにする。
2. 問題の争点を数量で示す。
3. 科学的文献や整っている情報を検索する。
4. 問題解決の選択肢を創り出し優先順位をつける。
5. 行動計画を作り、介入を実施する。
6. プログラムや政策を評価する。

科学的根拠のタイプ

性質	タイプ	タイプ
典型的データ / 関係	予防可能なリスク - 疾病関係の強さ	公衆衛生における介入の総体的効果
通常の場合設定	臨床またはコントロールされたコミュニティでの設定	社会的に手をつけられていないグループかコミュニティ全体
根拠の質	より多い	より少ない
行動	「なされるべきものが何か」を知る	「特に、これがなされるべきか」を知る

公衆衛生の意志決定要因

